

科目名	保育実習Ⅰ（施設）		担当教員	山野 良一・石井 章仁 伊藤 恵里子		
			担当形態	複数		
テキスト	特になし	単位数 授業形態	2単位 実習	開講時期	集中	
<p>講義概要</p> <p>■到達目標■</p> <p>（利用者理解）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設において、利用者がどのような生活をし、どのように人と関わって生きているのかを具体的に理解する。 <p>（職務の理解）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が援助観に基づく意図をもって援助を行っていることを知り、その内容を具体的に知る。 <p>（施設の理解）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設における基本的な機能について具体的に理解する。 <p>（自己課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の良さや課題、価値観などに気づく。 <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>本実習は、保育士資格を取得するために必要な実習の1つであり、1年次の授業終了後に実施されます。実習としては、教育実習Ⅰに続くステップとなります。</p> <p>実習は90時間以上行います。意欲やねらいを持って参加するとともに、日々記録の作成と提出等が必要です。</p> <p>実習に臨むにあたり、障害者スポーツ大会や夏季のボランティア、現場の職員によるレクチャー、先輩の話などを聞く機会を設け、障がい者や施設に対する理解を進めます。さらに実習直前には事前訪問を行い、実習施設と実習生とが互いに理解する機会を設定し、見通しをもって実習に臨めるよう準備していきます。</p> <p>おそらく多くの学生が、これまで経験してこなかった施設での利用者との出会いによって、人間観、世界観が刺激されることでしょう。これにより、異なる価値観を受け入れる素地を創るきっかけとなることを目的としています。</p> <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導で立てた目標の達成状況 — 10% ・実習の取り組み状況 — 40% ・実習記録 — 20% ・実習園からの評価表 — 30% <p>単位認定の前提として、実習事前事後指導を学修していることが条件となります。</p>						
参考文献	追って指示する。	特記事項	実習を規定時間行うことが必要となりますが、規定時間を満たしたとしても、実習の状況等により、単位の修得ができない場合があります。単位を修得出来ない場合、保育実習Ⅱ、Ⅲは履修出来ません。			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼				
		保	保育実習			